

平成 21 年度船橋市環境基本計画策定委員会 第 1 回（自然環境・環境学習）部会 議事録

日時：平成 22 年 1 月 22 日（木） 10 時

場所：船橋市役所 4 階 405 会議室

出席者：鈴木委員（部会長）

北澤委員

高野委員

村松委員（名川哲哉委員代理）

欠席者：大野委員

事務局：環境保全課 西岡課長、近藤室長、伊藤補佐、布施、鎌田

株式会社 数理計画

開会

事務局

（布施） それでは、ただいまから平成 21 年度環境基本計画策定委員会第 1 回（自然環境・環境学習）部会を開催致します。

お手元の配布資料をご覧ください。本日は、次第、資料 1、資料 2、第 2 回部会開催日程（案）、平成 21 年版の船橋市の環境（概要版）を準備させて頂いております。不足等ございますでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、まず部会長につきましてご報告いたします。委員長と調整したところ、当部会の部会長は鈴木委員にお願いすることとなりましたのでご報告致します。

また、本部会に県環境政策課地球温暖化対策推進室の名川室長に代わって環境学習担当の村松様にご出席いただいております。県から委員として、環境学習を担当組織（環境政策課地球温暖化対策推進室）の長である名川室長を推薦いただきましたが、環境学習の専門家として、実務に関しまして、村松様にご出席いただくこととしました。委員の皆様にはご了解賜りますようお願いいたします。

それでは、村松様、恐れいりますが、自己紹介をお願いいたします。

<村松委員 自己紹介>

事務局：布施 ありがとうございます。

本日は部会開催通知でご案内したとおり、①施策分野に係る基本施策、②基本施策ごとの目標について、ご検討して頂くことを予定しております。

それでは、策定委員会設置要綱第 6 条の規定により、部会長にこれよりの進行についてお願い致します。鈴木部会長、ご挨拶とその後の議事進行について、よろしくお願い致します。

部会長 それでは、お手元に配布してあります次第により進めたいと思います。

まず「良好な自然環境の保全」の施策分野から検討したいと思います。事務局から説明願います。

事務局：鎌田 おてもとの資料1をご覧ください。資料1は、各施策分野ごとの基本施策、基本目標について、事務局から提案させて頂いております。新環境基本計画策定にあたっては、施策分野別の基本施策及び目標の検討を早急に行う必要がありますので、本日は資料1に記載されております基本施策、目標について検討して頂き、部会（案）としてまとめて頂きたいと考えております。

そこで、検討して頂く前に市の現状と事務局からの提案について説明させて頂きます。なお、市の現状についての詳しい内容・ご質問等は市でお答えしますが、説明については、環境基本計画策定調査業務を委託しております㈱数理計画よりさせて頂きます。

数理計画 それでは自然環境分野に関連する資料2について説明させて頂きます。

<資料2 説明>

つづいて、基本施策とそれぞれの目標について、事務局（案）を説明させて頂きます。資料1をご覧ください。

<資料1 説明>

自然環境分野の環境の現状と基本施策と目標（案）についての説明は以上です。

事務局：鎌田 本日検討して頂きます「基本施策・目標」については、市庁内検討会でも検討しておりますので、検討結果につきしては、後日ご報告させて頂きます。

次の部会では、庁内検討会での検討結果を踏まえ、具体的施策と進行管理指標（数値目標）を提案させて頂き、最終的に3月末開催予定の策定委員会で各部会（案）の検討をお願いしたいと考えております。

それでは、本日は基本施策とそれに基づく目標の二つにつきまして、施策分野ごとに検討して頂き、部会（案）としてまとめて頂きますので、よろしくお願い致します。

部会長 市の現状と事務局からの提案は、お聞きのとおりですが、何かご質問やご意見はございませんか。

北澤委員 自然環境の保全で生物多様性の取り組みについては、千葉県が生物多様性ちば県戦略を作成し、流山市でも地域戦略を策定して、パブリックコメントを行っています。生活と生き物の対立が生まれないように生物多様性の持続可能な利用が必要なため、地域社会に係わる施策を盛り込む必要があると考えます。

事務局：布施 千葉県の戦略づくりの際、市へ問合せがありました。市の地域戦略を行っていくのに具体的なものがない。三番瀬については方向性があるが、北部の緑地については具体的な計画等がないのでこの基本計画の議論を参考としたいと思っております。

高野委員 下草を全部刈り取ってしまうことだけが目的になってしまう事がある。枯れ枝や落ち葉も昆虫の住処だし、環境の多様性が生物の多様性につながる。千葉県の標準的な温度として、海の影響が出る銚子で代表させるのは気になる。船橋の気象データも印旛沼水系につながる北部は、南部とかなり違うと思われる。

事務局：布施 気象の表の数値は船橋市消防局の屋上でとったものです。

部会長 違うものを使うことは出来ないのですか。

事務局：布施 環境白書には継続的に消防局でとったものを使っています。アメダスを利用する案もあるが、適切なものかどうかは議論が必要。

部会長 何か適切な数値を使えないか。

事務局：布施 大気測定局のデータもあります。

部会長 今後適切なものを使ってもらいたい。

事務局：布施 現状として北と南で測定局の値は違う。海の影響もあり、本市においてはヒートアイランドの影響はないように思われます。

部会長 現状の地域の写真を計画に載せることは出来ないですか。代表的な場所だけでもいいのであれば、過去の写真と比較出来き、一目で分かるのでいいと思いますが。

事務局：布施 特に写真等は撮っていませんが、最終的に計画書のレイアウトは検討し

ます。現況において撮影した写真を載せるのは可能かと思います。今後定点観測として、活用できるようにしていきたいです。

高野委員 広報の方でフォトライブラリーがあるのではないか。

事務局：布施 写真については環境保全課でもとってあるが、データ容量の問題もあり過去のは削除していっています。過去において動植物のものを集めたことがあるので、前向きに検討したい。

部会長 このほかにありませんか。

それでは、自然環境分野の基本施策と目標については、部会（案）のとおりとしてよろしいでしょうか。

<委員より異議なし>

部会長 続いて、環境学習の施策分野について検討したいと思います。

事務局から説明願います。

事務局：鎌田 前回配布させて頂いた資料2をご覧ください。先ほどと同様に(株)数理計画より市の現状と事務局からの提案について説明させていただきます。

数理計画 それでは環境保全分野に関連する資料2について説明させていただきます。

<資料2 説明>

つづいて、基本施策とそれぞれの目標について、事務局（案）を説明させていただきます。資料1をご覧ください。

<資料1 説明>

環境保全分野の環境の現状と基本施策と目標（案）についての説明は以上です。

部会長 お聞きのとおりですが、何かご質問やご意見はございませんか。

<資料「エコふなばし」を配布>

事務局：布施 今追加で配布した資料は環境審議会にて市民にどのように環境について情報を配信するか議論になって作成したものです。町会、自治会を通じて配布を行っています。

高野委員 「エコふなばし」の発行は年に1回ですか。

事務局：布施 年に1回。3月に行っています。

高野委員 次号は3月ですか。

事務局：布施 その予定です。

村松委員 環境教育と環境学習は並列で考えているのですか。

事務局：布施 並列で考えていきたい。

村松委員 効果的に環境教育を広げるには学校がどう関わるかが大事。資料1の①で出てくるが、それ以外でも学校を絡めることは出来るのでは。

部会長 環境保全課と学校との環境学習の連携について検討していますか。

事務局：布施 教育委員会も含め検討を行っています。学校の先生レベルではどのように行っていけばいいかわからない様子。環境団体が手助けしている事例はあります。市として個別で対応していることはあります。環境審議会で学校の先生に協力頂いています。温暖化対策の計画づくりの際は学校の状況を調べるのに協力頂いた。ただし、継続的な調査ではない。また、年に2、3回小中学生から職場見学は受け入れています。市から積極的に働きかけはしていない。要望があれば受け入れます。

部会長 今後の予定は。

事務局：布施 講座等に環境団体の方を講師として派遣していることはあります。

村松委員 環境学習を行うにあたって、やり方はどこに問い合わせればいいのかははっきりしていることは大事。市が情報のシステムをつくっておけば現場は動きやすいのでは。

事務局：布施 講師派遣は流れが出来ている。学習に必要なツールは揃ってきている。試しに使って頂き、好評であれば拡大して調達していきたい。また、こども環境白書を配布しています。

村松委員 環境省ではこどもエコクラブというものもあり、市川市は盛んなようです。

高野委員 クラスごとに登録参加している学校もあります。ただ、先生の人事異動で途切れてしまうこともあるので、複数の先生がかかわって長続きさせてほしい。

事務局：布施 公民館を通じてこどもエコクラブづくりを行っているが、なかなかそこまでいっていない。

村松委員 環境団体のネットワークを作り、コーディネートするものを作ってはどうか。

部会長 ネットワークの必要性は分かるが、ネットワークを作った後の活動が重要。団体をまとめるのは大変。

高野委員 会の代表が、ある分野の専門家の大先生であることが多いから、協働作業の経験がない。それぞれが忙しいし、ネットワークの組織図を作っても、形だけのものになりやすい。

事務局：布施 環境フェアの後に、団体同士の意見交換会も行ったことがありますが、内容としては市への要望になってしまった。

高野委員 市民団体は、それぞれが別の思いをもっていて、日常の活動も縦割り状態になっている。合意形成の訓練をつんだコーディネーター的な人材がこれからは必要。

部会長 温暖化対策計画の時の協議会の話を知りたいが。

事務局：近藤室長 計画を作成したが、アクションプランについては市民、事業者の方々につくってもらう方がいいと考えて動いているが、各団体の取組みを主張されてしまう。共通の部分もあるが、まだうまくいっていない。現在は部会のところで止まっています。行政側が考えるほど一本化出来ない。具体的な対策案までは出てこない。また、事業者によっても対策にムラがあります。対策の取組みについても知っているかどうかのレベルに差があります。それらの取組みの平均化につ

いては苦勞しています。

部会長　　ちょっとでも前に進むようやっっていくしかない。

北澤委員　既に様々な情報を知っている団体があると思うが、市がどのような情報を欲しているのか、その方向性を周知することが大事であり、必要な情報を方向性をそろえて集めるようにしていくべき。県の戦略作成の際には、県全体の生物多様性の状況に関する情報が少なく、把握が難しかった。それゆえ、県では「生物多様性システム」や「生命のにぎわい調査団」などの取り組みを始めた。これらの情報を活用することも考えてはどうか。市でも H12, 13 年に市内の環境調査を行っているようだが、今後の予定はどうか。

事務局：布施　市民調査員についてはセミの抜け殻調査を行ったが、調査員の高齢化の話が出た。また、活動の拠点が欲しいとの要望も出た。市民大学等の中にこのような調査を組み込んで講座を作ってはどうかという話をしている。具体的な話まではまだなっていない。

部会長　　若い職員の方をつかってはどうですか。

事務局：布施　水面下で動いていくことが重要。人の繋がりを広げていきたい。団体とのつながりは出来てきています。学校関係を巻き込んでいきたい。

部会長　　今仰ったことは続けてやって頂きたい。行政がどう絡むか大事です。市民大学では環境の内容は無いのではないかと。

事務局：布施　あまりないですが、問い合わせは来ています。環境団体の協力は促せると思います。

高野委員　分類や生態に詳しい専門家がするのか、この際に勉強しようかという市民が参加するのかわ、自然科学的なレベルが当然違ってくる。調査の目的をはっきり決めておかないと、せつかくのデータが役に立たなくなってしまう。

北澤委員　データの信頼性に疑いがある時には市民にとっても活動が無駄になる。マニュアルの活用も考えなくてはならない。

事務局：布施　市の中でも生物の専門家がいらない。長いスパンでの計画が立てにくい。

高野委員 自然環境にかかわる調査は、春の季節が大切だし、継続的であることが望ましいのだが、単年度の調査で、夏から始めて2月まででまとめることが多いのが残念。

事務局：布施 環境学習は後追的になってしまう。10年スパンでやっていたものもない。基本計画で縛ってやっていると出来ない。各委員からの知恵を拝借してその必要性を計画に加味していきたい。

部会長 策定委員会でも言ったが、予算の話は必要ではないか。

高野委員 具体的に計画の中で内容を指標として入れていかないといけない。

事務局：布施 内容によっては指標を立てにくいものもあります。2、3年で話が途切れてしまうことがあります。

北澤委員 計画の実効性をどう担保するかという視点は重要。県では、県戦略推進のために多様性センターを設置した。また、県民会議が県民目線から、戦略の新着状況をモニターしている。

部会長 村松委員にお聞きしますが、県では効果測定はどうされているのか。

村松委員 県では色々な主体の方に集まって頂いて、事業計画を立てて、評価もしてもらっているが、これから軌道に乗るところである。指導者養成講座を受けた方のその後の活動の追跡調査をやっていない。アンケート調査をやってみたが、指導者としてうまく活動できていないことがわかります。フォローアップしていくことは必要。

部会長 今後も引き続き活動を続けていくことが必要。計画は具体的にしていきたい。

部会長 それでは、環境学習分野の基本施策と目標については、部会（案）のとおりとしてよろしいでしょうか。

<委員より異議なし>

部会長 それでは、最後に事務連絡を事務局から願います。

事務局：布施 長い間、ご議論頂きありがとうございました。なお、次回開催につきましては、配布させて頂きました日程を予定しておりますので、事務局（案）をもとに次回開催日について、できればこの場で決めて頂きたいです。

部会長 事務局から次回の開催日について、提案がありましたが皆様のご都合はどうでしょうか。

部会長 それでは、今回は2月24日ということでよろしいでしょうか。

<委員より異議なし>

部会長 各委員の皆様から、事務局に質問事項等ございますか。

無い様でしたら以上をもちまして、平成21年度船橋市環境基本計画策定委員会第1回自然環境・環境学習部会を終了させていただきます。